

パンデミック条約制定と国際保健規則改定



「グローバルヘルス市民社会ネットワーク」代表 稲場 雅紀さんに聞く

世界中で700万人近くの死者を出しました。対策の誤りを二度と繰り返さないことが一番の目的です。気候変動や生物多様性の喪失、「コロナ級のパンデミック」が発生する可能性は今後數十年間で3倍に高まり、10年内に発生する可能性は97%と予測されています。今回のパンデミック

新しい条約の制定や規則改定の背景は?

未曾有の被害をもたらした新型コロナウイルス感染症の世界的大流行（パンデミック）。被害の教訓から、世界各国はパンデミック条約の制定と国際保健規則の改定に向けた協議を行っています。その背景について、長年国際保健の分野に携わり、協議に市民社会として参加している「グローバルヘルス市民社会ネットワーク」代表の稻場雅紀さんに聞きました。

て、各自の医療水準が浮き彫りになりました。死亡率の高かった中南米や東欧の医療水準は低く、特に貧困層の医療サービスは非常に悪い状況です。開発されたワクチンは先進国が買い占めてしまい、途上国に回りませんでした。国際的な医療格差のため、本来助けることのできた命が多く失われ、パンデミックの制圧も遅れてしまったのです。

小林圭子

医薬品アクセスに関する各國間の不平等を是正し、検査、治療薬、ワクチンなどを世界全体に公

正差格療醫

く失われ、パンデミックの制圧も遅れてしまつたのです。

コロナの誤り繰り返さない

それは陰謀論に基づく
偽情報です。もちろん、
災害や感染症などに乗じ

のではなく、事実に基づいて条約制定の議論に参加することが必要です。

——協議の中ではどんな議論がされているのでしょうか？

■透明性が高い
――「条約の制定で、WHOが各国の主権を超えて、強制権を持つた法律」
　　書かれていたものですが、実際の交渉の中では、WHOが各国の主権を超えて、強制権を持つた法律

SNSでの偽情報は玄渉内容に関係なく、陰謀論の仕組みの強化も議論されています。

あるとして、「悪い条約
ならない方がよい」など
と強い懸念を示しまし
た。巨大製薬企業を持つ
先進国も公平性の観点に
は消極的です。一方、保
健上の緊急事態に直面し
た国がすぐに対応を認識
できます。透明性が高いな
ら、誰もが見ることができ
ます。市民団体の交渉
への参加や意見表明も可
能です。今回の交渉の主要部
はオンラインで中継され
一般公開されていま
す。条約の案文も公開さ
れます。

平に届ける仕組みづくりが焦点になっています。ただ、医薬品開発の迅速性と公平性のバランスをどう取るかが課題であります。政府が国民の人権を尊重したり、国民に十分に知らせることなく国際的な取り決めを交わしたことなど、してきたり歴史があり、市民として監視していく必